



### ● 第23回市民公開講座 骨髄移植を知ろう が開催されました

10月15日(日)、五所川原市のふるさと交流圏民センターオルテンシアで開催されました。初めての五所川原市開催。とてもとても寒い秋の日でしたが、多くの皆さんが集まってくださいました。



今回も第一部の前に、患者情報提供会。今回は大きなホールの四隅を利用した開催で、マイクも使えなかったのが声が拡散し、少し聞き取りにくく、ちょっと残念だった気がしています。

第一部では、骨髄移植とドナー登録の概要を知っていただくための講座です。青森県骨髄バンク登録協力会からドナー登録について説明してくれたのは、まろまろの高坂行成さん。

第二部では、患者さんとドナーさんの体験談を聞かせていただきました。「冬の夜の初めての輸血」と題して患者体験談を話してくれたのは、まろまろの納谷むつみさん。



そして今回も、青森山田中学高等学校吹奏楽部の皆さんの演奏がとても素敵でした。今回は、おどけた演出もあって、とてもとても楽しませていただきました。皆さん、芸達者でしたよね～。



最後は「ありがとう」の歌を生徒さん達も一緒に歌っていただき、全体を通して、一体となって作り上げた公開講座となりました。

高橋先生をはじめ吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。

(報告: 山本なおこさん)



### ● まろまろクリスマス会



12月23日(土)にクリスマス会を行いました。サンタクロースやトナカイに扮した会員が病室を訪問して手作りの記念品をプレゼント。

昨年に続き、会員の有志で、こぎん刺しのツリー(写真)を作成しました。

また、献血ボランティアグループの皆さんからは、希望者に「タオル帽子」を贈呈。

そのあと、あらかじめ飾り付けした8階病棟食堂で、お菓子と飲み物で茶話会をして過ごしました。

ご協力くださいました皆さま、たいへんありがとうございました。



こぎん刺しツリー

# ● まろまろからのいろいろなお知らせ

## バス遠足



今年は、六ヶ所村のスパハウス「ろっかぽっか」です。  
ここを選んだ理由は、無料の送迎バスがあり、温泉に入れて、お食事は御膳ということでした。  
野外でのバーベキューには少し寒い季節ということもあります。



県病前を9:00に出発。途中、大きな石油備蓄タンクが立ち並び、風力発電も沢山回っていました。51基の備蓄タンクでも、日本全体の使用量5日間分しか無いそうです。

まずは、六ヶ所原燃PRセンターの見学です。説明を受けながら見学して、約一時間。日本中の低レベル廃棄物が一堂に集められているということに驚きました。



「ろっかぽっか」に着くと、温泉につかり、お食事タイム。御膳を前に、富士井先生の御発声で乾杯！  
畳の部屋に椅子とテーブルで、広々とした部屋でした。



小さなお釜に炊き込みご飯が炊かれてましたが、何人かのお釜の中ではご飯が斜めになっているという不思議な現象がみられました。  
お釜はちゃんと水平なのに？



いろいろとスタッフの方の気遣いに感謝でした。帰りのバスでは、私を含めほとんどの方が寝てしまい、湯ったり旅でした。  
(報告:高坂行成さん)



はい、集合写真



### ● 骨髄バンクへの協力

12月21日(木)、岩手県の一関看護学院において、会員の高坂行成さんが(公財)日本骨髄バンク「語り部事業」の一環で講演を行いました。

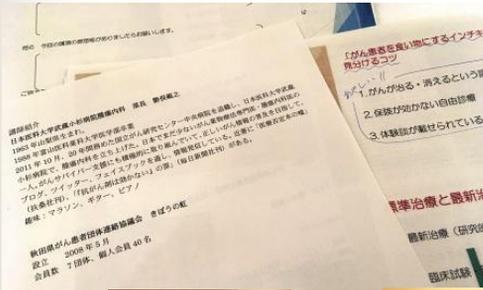
当日は「いのち」と題して約100人の看護師のタマゴさんたちを前に、自らの闘病体験と命の大切さ、骨髄バンクドナーなどについてお話ししました。

## ◇ がん患者・家族のための相談支援セミナー ～正しいがん医療情報の見つけ方～

11月12日(日)

すごーく面白かった。「正しいがん情報の見つけ方」というタイトルから想像したものよりずっと面白く、ためになった。

最新治療・先端治療はイコール実験中！のこ。皆保険の国日本では、標準治療がイコール最善の治療である。「貯金全額はたかないように」と。



「元国立がんセンター医師」の触れ込みが、ただ見学に来ていただけの医者だったり・・・

広告の質を確かめるのはとてもとても難しい。書籍もインターネットもテレビも怪しい。(；ω；)

悪いのは騙されてしまう方じゃない。ぜひ主治医と良い関係を作って正しい情報源になってもらえるようにしましょう。



講師は、日本医科大学武蔵小杉病院の勝俣先生。見た目のイメージは「めがねののび太君」♥「本当にブラックジャックから医者を目指す人っていたんですねー」でしたが、とてもとても明るく楽しくわかりやすく、ステキなステキなお話でした。

## ◇ がん患者ささえあいフォーラム2017

11月18日(土)、「寄り添う」をテーマに、がん患者ささえあいフォーラムが開催されました。

講師のフリーアナウンサー 町 亜聖さんは、高校3年の時に母がくも膜下出血で倒れ、半身まひ、認知症となり、以後10年にわたり介護や家事に従事しながら、大学を卒業し、日本テレビのアナウンサーとして活躍。

さらに母のがん発病、看取り、父の発病、看取りという壮絶な介護生活の中から、「できないことではなく、できることを数える」という発想の転換や、「人生に無駄なことはなく、すべてのことには時がある」と思うに至った体験を語っていただきました。

もうひと方の講師、野辺地町常光寺住職の西村寿晃さんからは、おじの看取りをきっかけに、長年行っている終末期の患者と家族の話の傾聴、寄り添い活動についてお話いただきました。



# ● まろまろ新年会2018のお知らせ

## ◇とき

平成30年1月27日(土) 午後6時から

## ◇ところ

ホテルクラウンパレス青森  
青森市本町5-5-4 TEL 017-775-1151

## ◇会費

3,800円



## ◇お申し込み

同封のハガキでお知らせください。  
準備の都合上、1月18日までに投函してください。



お問い合わせは、090-1372-1610(レク担当:高坂)、  
または090-9634-6703山本まで。

**駐車場あります。**  
**ノンアルコールのビールなどもあります。**

## ● 第24回県民公開講座 ～骨髄移植を知ろう～ 開催予定

日時:平成30年7月28日(土)  
場所:むつ市 下北文化会館

上記のとおりで開催を検討しています。  
詳細が決まりましたらお知らせします。  
ご参加くださるよう、日程の調整をお願いいたします。

## お茶会に参加しませんか

毎月第4土曜日に茶話会を開いています。  
会員でない方も大歓迎です。

◇開催日  
毎月第4土曜日  
午後2時～4時

◇場所  
県立中央病院  
8階病棟食堂



## ◇ ご寄付いただきました

館山 富代 様 金 10,000円  
納谷 むつみ 様 金 5,000円

誠にありがとうございました。



## 骨髄バンク情報 (H29年11月末現在)

	全国	青森県
患者登録者数	1,389人	15人
ドナー登録者数	477,499人	8,465人
対象人口千人あたり	8.49人	15.22人(8位)

— 資料 : (財)骨髄移植推進財団 —

## 血液疾患と歩む患者・家族の会 まろまろ

<事務局連絡先> 青森県立中央病院 血液内科 外来  
TEL 017-726-8141 FAX 017-726-8083  
〒030-8553 青森県青森市東道2-1-1



県病HP <http://aomori-kenbyo.jp/shinryo/ga/ketsueki>  
facebook まろまろ青森

